登米市の
コミュニティ・スクール



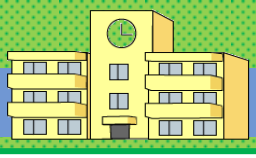
地域とともにある学校づくり

＝　学校がよくなれば地域がよくなり
地域がよくなれば学校がよくなる　＝

平成２８年

登米市教育委員会

■ コミュニティ・スクールとは？



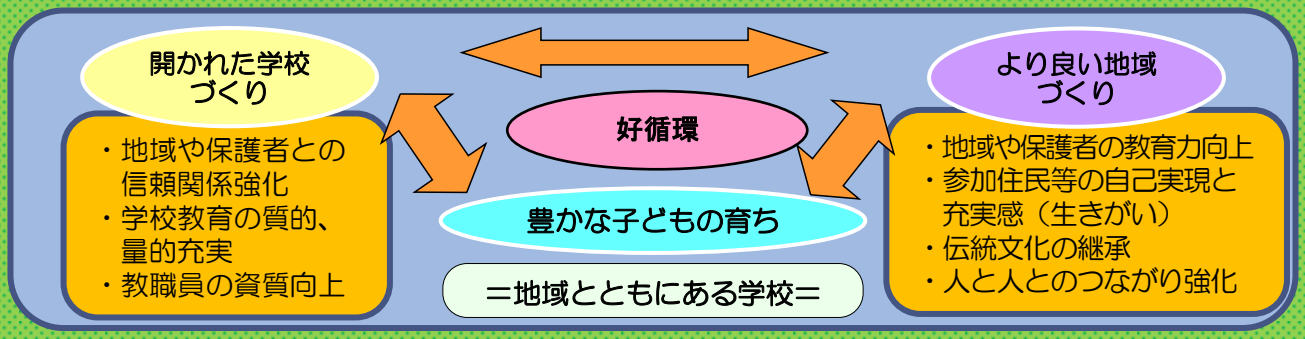
コミュニティ･スクールとは、学校運営協議会が設置されている学校のことをいいます。市内では、現在石森小学校と新田小学校、北方小学校の３校がコミュニティ・スクールに指定されています。登米市では、平成３０年度までに市内の全小中学校をコミュニティ・スクールにする準備を進めています。

■ 学校運営協議会とは？

学校運営協議会とは、学校と地域の方々が目標を共有し、一体となって地域の子どもたちを育てるために、一定の権限と責任を持って、学校経営について協議する仕組みです。学校運営協議会は、各小中学校に設置され、校長が推薦し教育委員会から任命された委員（保護者や地域の皆さん）によって構成されます。登米市では、委員の数を２０人以内と定めています。

■ 学校運営協議会では、何について協議をするのですか？

学校運営協議会では、学校や地域の抱える課題を解決するために熟議（熟慮と議論）を行い、目標を共有します。そのためにまず、学校の教育目標や学校運営に関することを協議することになります。その他に「学校評価」や「学校支援活動」についても話し合われます。





■登米市のコミュニティ･スクールのイメージ図

熟議とは

多くの当事者による「熟慮」と「議論」を重ねながら課題解決を目指す対話のことをいいます。活発な議論により、的確に多くの人の意見を反映することができます。登米市教育委員会では、学校運営協議会の話合いに熟議の手法を取り入れることを推奨しています。



熟議のポイント

1. 多くの当事者（保護者、教員、地域住民等）が集まって、
2. 課題について学習・熟慮し、議論をすることにより、
3. 互いの立場や果たすべき役割への理解が深まるとともに、
4. それぞれの役割りに応じた解決策が洗練され、
5. 施策が決定されたり、個々人が納得して自分の役割を果たすようになったりすることが期待される

熟議により、お互いについての理解を深めることもコミュニティ・スクールの立派な成果であると考えます。

学校・地域教育力向上対策事業

登米市では、学校とボランティア、ボランティア間の連絡調整を行う地区コーディネーターを町域ごとに１人配置し、学校と地域を繋ぐ役割を果たしていただいています。地区コーディネーターは、学校からのボランティア派遣の依頼を受けると、ボランティア登録者の中から、ボランティアとして活動していただける方を探し出し、連絡調整を行いながら、学校に派遣します。

登米市では、平成23年度から学校・地域教育力向上対策事業として、地域の皆様から支援をいただける環境を整え、学校教育を充実させてきました。コミュニティ・スクール導入後も、この事業を継続し、充実させていきます。



学校

先生だけでは人手が足りない。



（例）
- 登下校の見守りをお願いしたい。
- 放課後の学習を手伝ってほしい。

地域への協力

協力依頼

学校支援

地区コーディネーター

学校と地域の両方の状況を把握している。

調整

地域

住民　NPO
企業　団体



（例）
- 子どもと触れ合いたい。
- 勉強は無理だけど運動なら教えられる。

学校への支援



■ コミュニティ・スクールの実践

学校支援ボランティアと連携したコミュニティ・スクールの実践

登米市立石森小学校　平成２６年４月１日指定



石森小学校では、午前５時間制を取り入れて、子どもたちが放課後の時間を有意義に活用できるようにしています。その活用法として、放課後学習室を開設し、地域の学習ボランティアさんから算数を教えてもらったり、ジュニアブラスバンドの練習に、楽器の演奏の経験のあるボランティアさんを招いて金管楽器の音の出し方を教えてもらったりしています。また、放課後の時間だけではなく家庭科の時間には、ミシンの使い方を地域の方から教えていただいたりもしています。総合的な学習の時間の米作りの学習活動では、苗の植え方から稲刈りの仕方、脱穀の仕方などを、地域の方にいろいろな道具を準備していただきながら教えていただいています。子どもたちが地域の方々と触れ合い、たくさんのことを教えていただくことによって、学びの幅を広めたり深めたりするきっかけになっています。

「地域をつなぐ」学校運営協議会の設立

登米市立新田小学校　平成２７年４月１日指定



新田小学校では、２年間の準備期間を経て学校運営協議会を設立しました。元学校関係者、地元企業の方、地区コミュニティや子供会育成会の会長、公民館、駐在所長、保護者の代表等、様々な分野の方に委員をお願いしました。また、設立と同時に中学校とも連携を行い、新田小・中学校で育みたい子ども像を掲げ、その実現に向け、委員の方々にいろいろとアドバイスをいただいています。また、「地域をつなぐ」をテーマに、生活科、総合的な学習を中心に地域のボランティアの方々に支援者としてお力添えをいただいています。２年生の生活科の学習では、野菜を育てる学習のために学年教材園の整備のお手伝いをしていただくとともに、育てていく途中で、アドバイザーとしてアドバイスもいただきました。これ以外にも、放課後学習教室のサポートや校外学習の安全サポートなどにもご協力していただいています。今後は子どもたちが地域に貢献できるような活動も行っていきたいと考えています。